

南地域まちづくり

かわら版

地域計画のふりかえり

平成 29 年度から令和 3 年度までの地域計画が、今年度で最後の年となりますので、これまでの事業のふりかえりを掲載します。

番号	事業名	令和 3 年度	令和 2 年度	令和 元 年度	平成 30 年度	平成 29 年度
1	青色防犯パトロール (3 地域)	週 1 ~ 2 回活動 青パト全体会 → 新型コロナウイルス感染症対策のため中止	週 1 ~ 2 回活動 青パト全体会 → 新型コロナウイルス感染症対策のため中止	週 1 ~ 2 回活動 青パト全体会	週 1 ~ 2 回活動	週 1 ~ 2 回活動
2	防犯・交通安全部会	・部会活動	「安心・安全マップ」の更新 ・部会活動	・部会活動	・部会活動	・部会活動
3	福祉・防災部会	・見守り支え合い勉強会 → 新型コロナウイルス感染症対策のため延期 ・「防災カレンダー」作成中・部会活動	・認知症勉強会、福祉講座 → 新型コロナウイルス感染症対策のため中止 ・部会活動	・認知症高齢者徘徊検索模擬訓練・勉強会・部会活動	・認知症高齢者徘徊検索模擬訓練・勉強会・部会活動・福祉講座	・部会活動
4	広報部会	まちづくりかわら版の発行 南地域のたからもの散策マップ作成中	まちづくりかわら版の発行 南小学校保護者向けアンケートの実施	まちづくりかわら版の発行	まちづくりかわら版の発行	まちづくりかわら版の発行
5	地域交流イベント	防災をテーマに開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止。優秀作品表彰のみ実施した。	防災をテーマに開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止。優秀作品表彰のみ実施した。	「防災」をテーマに併せて優秀作品表彰式を併せて実施した。	「防災」をテーマに併せて優秀作品表彰式を併せて実施した。	「防災」をテーマに併せて優秀作品表彰式を併せて実施した。
6	座談会	・自治の取組みと地域計画及び平成 31 年度事業計画 ・部会活動目標と活動計画	・自治の取組みと地域計画及び平成 31 年度事業計画 ・部会活動目標と活動計画	・自治の取組みと地域計画及び令和元年度事業計画 ・部会活動目標と活動計画	・自治の取組みと地域計画及び令和 2 年度事業計画 ・部会活動目標と活動計画	・「地域カルテ」から見えるこれからの地域の姿と地域自治組織 ・南地域自治組織地域計画及び令和 3 年度事業計画

○「青色防犯パトロール活動」は、『南地域自治組織パトロール隊』として、パトロール車 3 台（当初は 4 台）が週 1 ~ 2 回巡回しています。青色回転灯と音声アナウンスでの広報により、地域住民の防犯意識を高める機会になりました。

○「地域交流イベント」は、『防災』をテーマに、災害時を想定した避難受付訓練や煙道体験など、防災意識を高めることを目的に実施しました。また、南小学校児童から募集した標語の優秀作品を活用したのぼり旗のお披露目と表彰式も併せて行いました。

○「座談会」は、“みんなが暮らしやすい南地域”の実現を目指し、地域の魅力や日頃から課題に感じていることなどについて、意見交換する場や活動報告の場として実施しました。



“見守り支え合い勉強会”企画！！

お互いに見守り、支え合える“地域づくり”を進めるため、『見守り支え合い勉強会』を企画しています。詳細が決まりましたら、改めてご案内します。

【内容案(予定)】

第一部：“認知症”を正しく理解（協力：大口町地域包括支援センター）

第二部：“瞬間ボランティア”ってなあ～に？（協力：江南警察署）



南地域のたからもの vol.50 ～改めてふり返る南地域のあゆみ その2～

前号では、江戸時代の頃の南地域の様子をご紹介しました。今回は、明治時代以降の南地域についてご紹介いたします。

明治11年(1878)、江戸時代から続く村々が合併し、秋田村、豊田村、大屋敷村に集約されます。範囲は現在の行政区とほぼ同じです。そして明治22年(1889)、3つの村は合併し、太田村ができました。南地域とほぼ同じ範囲の自治体が誕生したのです。太田村役場は桂林寺境内にありました。しかし、わずか17年足らずで終了してしまいます。明治39年(1906)の合併で、大口村が成立したからです。大口村ができた後、旧太田村で一つの行政のまとまりにするのではなく、それ以前の秋田・豊田・大屋敷でまとめられました。この頃の文書を見ると、「大字〇〇」や「〇〇区」と表記されます。しかし、当時の人々にとって一番身近な自治の団体は、江戸時代から続く集落が基本でした。



桂林寺(豊田)

昭和37年(1962)、町政施行があり、大口村から大口町になってもこの体制はほぼ変わりませんでした。よって、身近な自治の団体は遅くとも江戸時代の新田開発から数えて370年くらい。秋田・豊田・大屋敷というまとまりは、明治11年から数えて140年くらい続いています。

以上のように、大口町の他の地域と比べても、身近な自治の団体がこれほど多く、そして一つにまとまったのは南地域以外にありません。それぞれの「村」が培ってきた「あゆみの痕跡」＝「たからもの」が数多く遺る南地域。引き続き、皆さまにご紹介してまいります。

◆「南地域まちづくりかわら版」は、大口町ホームページで見ることができます。

大口町ホームページ

<https://www.town.oguchi.lg.jp/4235.htm>

◆「南地域自治組織事務所」

秋田三丁目397番地 ・ ☎/FAX 0587-75-1731

E mail minamitiiki@md.ccnw.ne.jp

